

仁川小だより



7月号

令和4(2022)年6月30日

「少子化社会対策白書」より

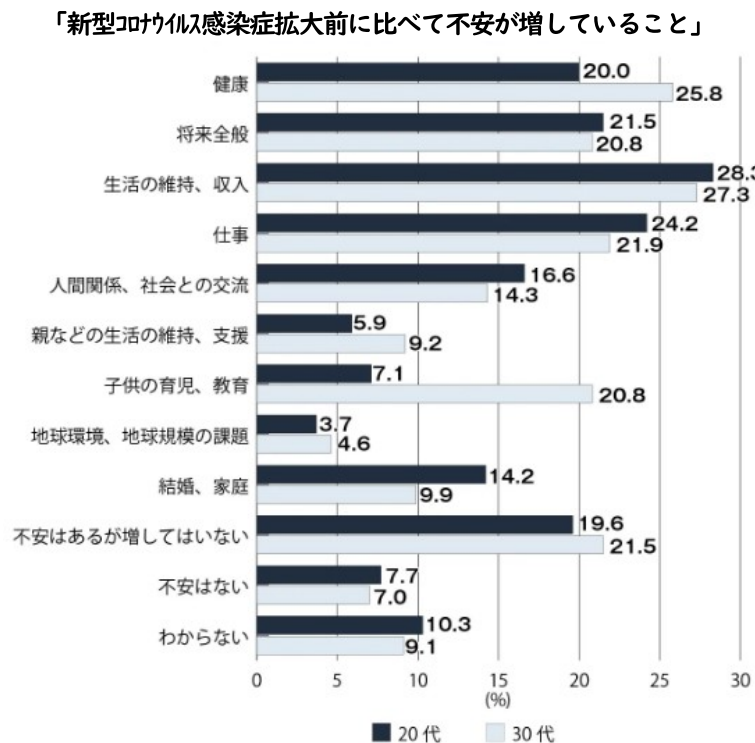
6月中頃、内閣府による今年の「少子化社会対策白書」が公表されたことをきっかけに、「出生数の推移」「婚姻・出産といった少子化をめぐる現状報告」「少子化対策のおもな取組」等が、テレビや新聞等で報道されました。具体的には、

- ・新型コロナの影響が続く中、結婚や妊娠の届け出数の減少傾向が続いており、去年1年間の出生数は過去最低を記録した。
- ・一方で、
- ・テレワークは、その普及とともに家族と一緒に過ごす時間が増加し、家庭内の家事・育児の分担を見直すきっかけになっている。
- ・新型コロナを契機とした結婚や子育て支援として、会員登録から出会うまですべての手続きをネット上で完結する婚活サービスや、AI(人工知能)が24時間対応する子育て相談などの取組がなされている。
- ・こうしたデジタル技術の進展は、結婚や子育ての利便性向上につながるため、少子化問題解決の一助となるのではないかと期待されている。

といった内容です。同時期に公表された内閣府の「男女共同参画白書」の内容も話題となっていました。ここでは、「少子化社会対策白書」の記述から気になることを取り上げてみます。

本白書には、日本国内の状況だけでなく、世界の動向も示してあります。それによると、少子化の課題は、日本特有のものではなく、世界の国々でも同様の傾向にあることが示されています。

また、本白書では、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響下での少子化の現状と対策について特集されています。そこには、出産や結婚の件数が減少している背景の一つとして、20代、30代では他の世代と比べて「生活の維持、収入」「仕事」「結婚、家庭」に関する不安が増していると示されています。とりわけ20代で



出典：教育新聞、内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」

はコロナ前と比べて「人間関係、社会との交流」について不安が増したという割合が他の世代より高く、30代では「子どもの育児、教育」を挙げる割合が2割超と、他の世代より高くなっています。

30代といえば、本校の保護者の皆様も、この年代に該当される方が多いのではないのでしょうか。

この結果を受け、私たち学校で働く教職員は、保護者の方々に寄り添って、お子様に関するご相談等について対応することが大切だと再認識しました。

また、20代は、高学年の少し上の世代です。その方々が「人間関係、社会との交流」に不安があるという結果が出ていることから、私たちも、学校生活における様々な場面で、子どもたちがお互いに触れ合う機会を設定し、子どもたちのコミュニケーション能力の向上及び良好な人間関係の構築につながる教育活動を展開すべきだと感じました。

7月初めには、個人懇談会を設定しています。長い夏休みに入る前に、お子様のことで不安に思われることがございましたら、ぜひ担任にご相談ください。(校長 山下 昌裕)

7月行事予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	金	個人懇談①	17	日	
2	土		18	月	海の日
3	日		19	火	一斉下校(4校時終了後), 市内一斉防犯活動, 美スケト
4	月	個人懇談②	20	水	終業式(11:30頃下校)
5	火	個人懇談③, 美スケト	21	木	夏休み(8/28まで)
6	水	個人懇談④	22	金	
7	木	避難訓練, SSW 来校	23	土	
8	金		24	日	
9	土		25	月	
10	日		26	火	
11	月		27	水	
12	火	ALT(5,6年), 美スケト	28	木	
13	水	ALT(4年), クラブ活動	29	金	
14	木		30	土	
15	金	給食終了, 大掃除	31	日	
16	土				

8/10~15
学校閉鎖

(本市の省エネルギー・省資源の取組を受けた、学校園における節電の取組)

【翌月の主な予定】

- ・8/29(月) 2学期始業式(11:30頃下校)
 - ・8/30(火), 31(水) 短縮授業(4校時終了後下校)
- ※上記はあくまで予定です。状況に応じて予定を変更する場合があります。

学校に設置されている公衆電話の撤去について

緊急時の連絡用として公衆電話の設置継続を希望していましたが、NTT 西日本より、利用の少ない公衆電話の廃止のお知らせがあり、7月15日をもって撤去されることとなりました。公衆電話をご利用いただいている皆様には大変ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。